

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地		
専門学校 文化デザイナー学院	昭和51年4月1日	飯村 雅史	〒310-0021 水戸市南町2丁目3番14号 (電話) 029-224-4820		
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地		
学校法人 リリー文化学園	昭和51年1月22日	理事長 大久保 博之	〒310-0021 水戸市南町2丁目3番14号 (電話) 029-224-4820		
目 的	本学科は、建築・インテリア業界においてインテリアデザイナーとして就職並びに活躍できる人材の育成を目指し、設計からインテリアに関しての専門教育並びに、職種に必要な二級建築士やインテリアコーディネーターの資格取得を目的とする。				
課 程 名	学 科 名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
産業デザイン専門 課程	インテリアデザイン 学科	2年(昼)	1890単位時間 (又は単位)	平成20年文部科学 大臣告示第12号	—
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技
	900単位時間 (又は単位)	900単位時間 (又は単位)	45単位時間 (又は単位)	45単位時間 (又は単位)	0単位時間 (又は単位)
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人	23人	2人	21人	23人	
学期制度	■1学期 ：4月1日～9月30日 ■2学期 ：10月1日～3月31日	成績評価	■成績表 (有・無) ■成績評価の基準・方法について 総合評価 A.B.C.D(D=単位不可) 部分評価を総合して4段階で評価する。		
長期休み	■学年始め ：4月8日 ■夏 季 ：7月25日～8月20日 ■冬 季 ：12月25日～1月7日 ■学 年 末 ：3月12日	卒業・進級条件	①出欠は学期内全科目の規定回数を全て満たしている。 ②課題は学期内の規定課題作品を全て提出し、その評価は60点以上である。 ③試験は学期末に行われる期末試験ですべての科目が60点以上である。		
生徒指導	■クラス担任制 (有・無) 専任教員が担当する授業のキャリアデザインでは、毎回同じ者が担当する。 また、試験・課題・出欠・就職・学校生活についてはそれぞれの担当がいる。 ■長期欠席者への指導等の対応 電話確認、保護者への連絡、面談など	課外活動	■課外活動の種類 ・キャンドルナイト・茨城県近代美術館ワークショップ・京成通り商店会黄門まつりワークショップ・チョコレートフェスティバル・mito☆ファッションショー・水戸まちなかフェスティバル ■サークル活動 (有・無)		

<p>主な就職先</p>	<p>■主な就職先、業界 設計・デザイン・インテリア・事務所/ ハウジング・住宅機器/建設業・工務店/ 家具・雑貨・インテリアショップ</p> <p>■就職率 100%</p>	<p>主な資格・検定</p>	<p>一級・二級建築士/インテリアコーディネーター/リビングスタイリスト/ カラーコーディネーター検定/福祉住環境コーディネーター/商業施設士補 /商業施設士/CAD利用技術者試験/二級建築施工管理技士/インテリアプランナー</p>
<p>中途退学の現状</p>	<p>■中途退学者 4名 ■中退率 16.0%</p> <p>平成25年4月1日在学者 25名（平成25年4月入学者を含む） 平成26年3月31日在学者 21名（平成26年3月卒業生を含む）</p> <p>■中途退学の主な理由 ①経済的な問題での就学困難 ②方向性や適正など進路に対する自信の喪失 ③病気による社会生活・就学困難 ④家庭の事情（引越など）</p> <p>■中退防止のための取組 対策として、欠席率の段階によって教職員による面談をしている。1段階指導として担当の面接、2段階指導として主任以上の職員による面接を実施している。また、課題の提出状況も把握し適切に指導出来るように、全ての規定課題（提出義務課題）については教務提出としている。経済的問題に対しても細かく配慮し、保護者との面談を行っている。奨学金や国の教育ローンなどを利用することによる資金計画について相談し、就学困難を回避している。また、昨今増えつつある精神的な病気についても出来る限り配慮することとし、安心して就学出来るように細かい面接等をしている。これらの細部にわたる「学生に対する配慮」が退学率を低くしており、「愛情をもって接する」という一人ひとりのスタッフのスピリッツにより支えられている。</p>		
<p>ホームページ</p>	<p>URL: www.bunka-gakuen.ac.jp</p>		

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

本校は、企業が求める人材ニーズや地域の産業振興の方向性を把握し、職業教育を向上させるために、企業・団体と連携して授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫を行うなど、企業等の要請を考慮した実践的かつ専門的な教育課程の編成を行うこととし、各学科の関連業界の動向や地域の産業振興に関して知見を有する業界団体の役職員や、実務に関する知識、技術、技能に関して知見を有する企業の役職員の方々を委員とする教育課程編成委員会を設置し、様々な意見を活用して教育課程を編成することを基本方針とする。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成 25 年 10 月 21 日現在

名 前	所 属
倉田 稔之	茨城デザイン振興協議会
坂 大樹	株式会社 スタジオサカ
椿本 学	いばらき印刷株式会社
小室 忠男	株式会社 水戸京成百貨店
佐久間 一能	株式会社 アーペ
杉浦 時彦	株式会社 アットワーク
桐ヶ谷 るみ子	茨城インテリアコーディネーター協会
小川 憲一	茨城県建築士事務所協会
横須賀 弘	有限会社 コムスペースデザイン
入江 清芳	専門学校 文化デザイナー学院
飯村 雅史	専門学校 文化デザイナー学院
荒井 真次	専門学校 文化デザイナー学院
塙 麻美	専門学校 文化デザイナー学院

(開催日時)

第1回 平成 25 年 10 月 21 日 16 : 00～18 : 00

第2回 平成 26 年 2 月 10 日 15 : 00～17 : 30

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

本校は教育方針として、「職業実践主義」「プロセス・表現主義」「デザインマインド教育」の三つを掲げている。特にデザインプロセスの実践的学習として「情報収集」→「分析」→「企画」→「デザイン制作」→「プレゼンテーション」までの流れを体験的に学習することは、上記の教育方針を総合的に理解することができると思う。

そのために、地域においてデザインを必要とする企業・団体・自治体と連携して学生に「現実的テーマ」を与え、担当講師の指導の下、一連のデザインプロセスについて質の高いデザイン力を習得することを目的として実習・演習を行うことを基本方針とする。

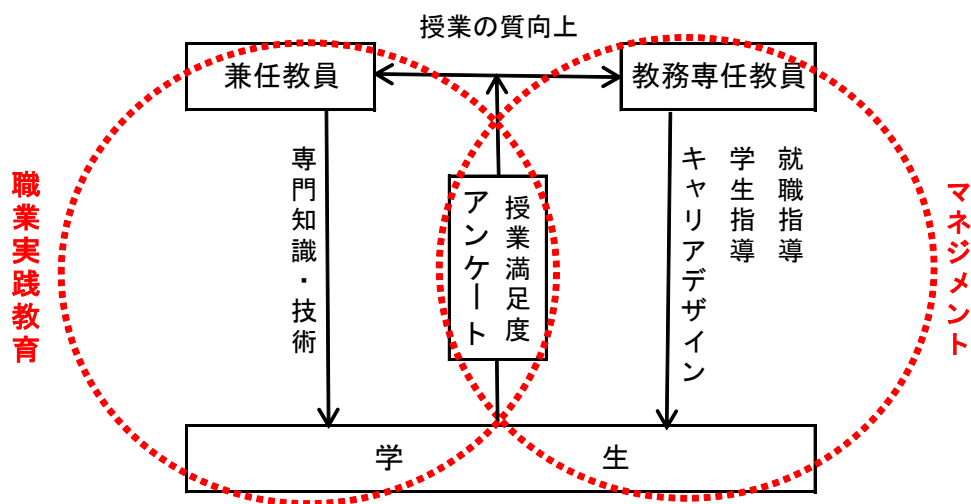
科目名	科目概要	連携企業等
修了制作 I	年間の総合進級課題。基本計画・設計製図、模型、パース、インテリア表現。	ひたちなか商工会議所
建築デザイン	公共建築物・住宅設計をより実務に通用する為の知識と、建築デザインを表現する為の技術力を身に付ける。	ひたちなか商工会議所
ショップデザイン	ショップデザインを行うために必要な知識と、表現力を身に付ける。また、インテリア表現を意識した作品制作を行う。	ひたちなか海浜鉄道株式会社

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

「プロによる実践教育」について

本校は、下記図のように、実務に関する知識、技術、技能に関しては「プロの兼任教員」が教授し、学生に対する様々な指導、マネジメントに関しては教務専任教員が担当している。



デザインは、教科書的にまとめられる領域は少なく実務実習型の授業がほとんどである。

従って、授業を受け持つには、例えば、広告デザインの分野では、デザイン構成やDTP技術はグラフィックデザイナーが教え、カラーコーディネートはその有資格者が教え、Web デザインは、Web デザイナーが教えている。インテリアデザインの分野では、設計製図は一級建築士が教え、インテリアコーディネーターはインテリアコーディネーターの有資格者が教え、3DCAD（3次元パース）は建築士の中でも、その技術を習得したプロが教える。また、エクステリアデザインに関しては、造園業にも精通したプロが教えるという具合である。また、本校のファッションコーディネーターは流通小売業の分野を学ぶもので、商品知識、接客、仕入れ、ディスプレイ、経理、はもとより、ネイルアート、フラワーコーディネーター、ラッピング、雑貨・ファッション小物制作等、それぞれの専門的授業に対して、その分野のプロが授業を受け持つことが必要になる。

このような観点から、本校は、ほとんどの授業においてその分野で活躍するプロが授業を担当するため、研修・研究に関しては、プロが行う現場の業務を通して常に先端の技術研修が行なわれているものとする。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成 25 年 10 月 30 日現在

名 前	所 属
中山 宇生	茨城県デザインセンター
岡田 寛和	株式会社光和印刷
竹越 萌野	株式会社藤代範雄デザイン事務所
山田 行雄	水戸ステーション開発株式会社
青木 唯	アスクウォーク有限会社
住谷 強生	株式会社ジェイディーアールスミヤ
桐ヶ谷 るみ子	茨城インテリアコーディネーター協会
石川 忠幸	株式会社棟匠
阿久津 裕司	株式会社根本建築設計事務所
入江 清芳	専門学校 文化デザイナー学院
飯村 雅史	専門学校 文化デザイナー学院
荒井 真次	専門学校 文化デザイナー学院
埴 麻美	専門学校 文化デザイナー学院

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: <http://www.bunka-gakuen.ac.jp/about/document.html>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://www.bunka-gakuen.ac.jp/about/document.html>

授業科目等の概要

(産業デザイン専門課程インテリアデザイン学科) 平成26年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			インテリアコーディネート基礎	住生活商品の販売現場で十分な活躍ができるように、商品知識と販売知識を身に付ける。	1通	60	4	○		
○			住空間計画	敷地の選定、構造寸法、集合住宅の形式と計画、住宅一般の間取りと平面計画。	1前	30	2	○		
○			空間環境	住宅を建築する上で住空間と自然環境を学び、生活する上で必要な建築インテリア環境設定を理解する。	1前	30	2	○		
○			測量実習	測量の解説と敷地の平面測量及び高低の水準実習。	1前	45	1			○
○			プレゼンテーション I・II	コラージュ、デッサンなど基礎的な観察力・発想力を高め、作品のまとめ方とプレゼンテーション力をつける。	1通	90	3		○	
○			雑貨デザイン	生活するうえで必要な生活雑貨を制作する事により、生活雑貨の使われ方から住空間や家具の寸法を導き出す。	1前	60	2		○	
○			カラーコーディネーション	カラーの基礎知識を学ぶと共に、色彩・明度・彩度など色の特性、イメージのカラープランニング力を修得する。	1前	30	2	○		
○			空間造形 I	平面図の立体スケッチ法（展開・立面・パース）を学び建築模型制作の基礎実習。	1前	30	1		○	
○			建築研究	各種建築物の研究・サチ（目的・用途・デザイン・構造等）を建築史と世界史より学ぶ。	1前	30	2	○		
合計				科目	単位時間（単位）					

授業科目等の概要

(産業デザイン専門課程インテリアデザイン学科) 平成26年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			住空間デザイン	建築と生活に関わる寸法を把握する。そして、建築空間を考える技法の習得。建築パースを描く上での図法、透視図法や透視図法の作図。自分でイメージする。	1 前	60	2		○	
○			基礎製図	図面の機能や読み方から線一本を引く練習から始まり、平面図・展開図・立面図等の作図。	1 前	60	2		○	
○			空間立体CAD基礎	ベクターワークスによる作図手順の解説と作図演習。3DCADにて立体表現を行う前の図面知識を修得する。	1 後	60	2		○	
○			建築の設備	換気・空調・給排水・電気・照明等・各種建築設備の機能。時代のニーズに応えられるインテリア住宅機器の商品知識を学ぶ。	1 後	30	2	○		
○			空間デザイン基礎	アイディア発想・イメージレッスン・コンセプト設定～空間構成の訓練。	1 後	30	1		○	
○			空間構造	各種材料の力学的な強度実験、木材、石材、セメント、コンクリート、金属、塗料等の性質と用途。	1 後	30	2	○		
○			住空間デザイン 修了制作 I	年間の総合進級課題。住空間のデザインを基本計画・設計製図、模型、パース、インテリア表現。	1 後	60	2		○	△
○			カラーコーディネーション特講	カラーコーディネーター3級合格に向けた特別講義。資格取得を目指した専門学校ならではの授業。	1 後	30	2	○		
○			やってみよう材料実験	コンクリートの性質を理解し、実際にコンクリートを作り、破壊する実験をする。鉄筋については引っ張り実験を行う。	1 後	45	1			○
合計				科目	単位時間 (単位)		

授業科目等の概要

(産業デザイン専門課程インテリアデザイン学科) 平成26年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			福祉住環境コ ンテイナー	住宅設計上必要な、介護・医療・福祉の知識・バリアフリー住宅の計画、提案・リフォーム。	1 後	30	2	○		
○			触れてみよう 建築法規	建築物を設計する上で必要とされる建築基準法及び関係法令の知識。	1 後	30	2	○		
○			製図レベル アップ	居住施設の配置、平面、断面、展開、かなばかり、各部詳細、仕上げ表等の作図。	1 後	60	2		○	
○			キャリアデザイン I	自己のアクションプランを再確認し、将来の専門分野での適性を考える。	1 通	60	4	○		
○			はじめよう 建築法規	二級建築士受験にも使用する建築基準法令集の対策準備。	1 後	30	2	○		
合計				科目	単位時間 (単位)					

授業科目等の概要

(産業デザイン専門課程建築インテリア学科) 平成26年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			IC技術まとめ	インテリアデザイナー一次試験の計画と技術の知識の合格を目指す。	2前	60	4	○		
○			いろいろ製図	RC造/S造の配置、平面、断面、展開、かなばかり、各部詳細、仕上げ表等の作図。	2前	30	1		○	
○			3DCADⅡ	コンピュータによる建築物の3D表現。外観・内観パースからの作成。条件と合わせた図面作成しワークル等の技法も学ぶ。	2通	120	4		○	
○			IC販売まとめ	インテリアデザイナー一次試験の販売と商品の知識の合格を目指す。	2前	60	4	○		
○			建築造形Ⅱ	設計図に基づく建築模型の製作技法と、プレゼンテーションの表現方法。	2前	60	2		○	
	○		建築デザイン	公共建築物・住宅設計をより実務に通用する為の知識と、建築デザインを表現する為の技術力を身に付ける。	2通	120	4		○	△
	○		ショップデザイン	ショップデザインを行うために必要な知識と、表現力を身に付ける。また、インテリア表現を意識した作品制作を行う。	2通	120	4		○	△
○			もっと知ろう建築法規	建築物を設計する上で必要とされる様々な制限・地域・その他の法の理解。	2前	30	2	○		
○			CAD製図JWⅡ	コンピュータによる平面、展開、詳細設計図作成。	2前	30	1		○	
合計				科目	単位時間 (単位)		

授業科目等の概要

(産業デザイン専門課程建築インテリア学科) 平成26年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			建築のできるまで	建築施工に準じながら構造、部材、工事別の内容に添った積算法。建築工事請負契約書、仕様書、工程管理、各種工事の概要、現場の管理と指導。	2 前	30	2	○		
○			できる構造計算	基本的な構造や計算の仕方などを解法	2 前	30	2	○		
○			建築の環境	室内気候と環境、換気、伝熱、日照、照明等の設計上必要な環境条件の把握	2 後	30	2	○		
○			計画のいろいろ	二級建築士資格取得に向けた、建築計画のまとめ。	2 後	30	2	○		
○			建築施工の準備	二級建築士資格取得に向けた、建築施工のまとめ。	2 後	30	2	○		
○			建築デザイン論	現代建築を中心に、これから必要な建築デザインの成り立ちから学習する。	2 後	30	2	○		
○			建築構造のまとめ	二級建築士資格取得に向けた、建築構造のまとめ。	2 後	30	2	○		
○			建築法規のコツを覚える	二級建築士資格取得に向けた、建築法規のまとめ。	2 後	30	2	○		
○			製図マスター	二級建築士合格に向けた実践的な製図実習。	2 後	30	1		○	
合計				科目	単位時間 (単位)					

授業科目等の概要

(産業デザイン専門課程建築インテリア学科) 平成26年度											
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位数	授業方法			
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	
○			プレゼン(論文)授業	インテリアコーディネーター一次試験を合格した者を対象に、二次試験のプレゼンテーション(論文)の試験対策授業。	2 後			○			
○			プレゼン(図面)授業	インテリアコーディネーター一次試験を合格した者を対象に、二次試験のプレゼンテーション(図面表現)の試験対策授業。	2 後				○		
○			キャリアデザインⅡ	社会の中でのアイデンティティを再発見し、将来の専門分野の進路への手がかりを得る。	2 通	60	4	○			
○			IC特講	インテリアコーディネーターの合格を目指す特別講義を行なう。	2 前	30	2	○			
合計				44科目	1890単位時間 (92単位)						